



ROCK PAINT

合成樹脂エマルジョン系 可とう形改修塗材E

# ビニロック エラスティックファイラーⅢ

**非セメント系**  
下地調整(フィラー)とシーラー効果  
パターン付けも可能!!  
目止め効果  
ヘアークラックに追従  
改修塗装に好適!!

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

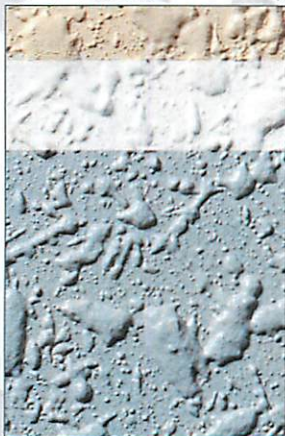
## 特長

- 下地調整(フィラー)機能とシーラー効果を兼備しており、ほとんどの旧塗膜に対し付着性が良好です。
- 上塗り塗料に対しては、水性、溶剤型ともに適用が可能です。
- 塗膜は微弾性のため、被塗物のヘアークラックによく追従します。
- 高固形分でやせが少ないので、目止め効果にすぐれています。
- 緻密で吸い込みの少ない塗膜を形成するため、各種上塗りはつやムラの少ない美しい仕上がりになります。

## 塗装工法例

### 旧塗膜のパターンを活かした工法

(ビニロックエラスティックファイラーⅢをシーラーとして塗布)



### 旧塗膜のパターンを変えた工法

(ビニロックエラスティックファイラーⅢでシーラー兼フィラーとしてパターン付け)



## 被塗物素材

- コンクリート、モルタル、ALCなど（磁器タイル、金属面、木部には適しません。）

## 適応旧塗膜

- 各種水性仕上げ材、吹き付けタイル、リシンなどの各種旧塗膜（新設塗装には適しません。）

## 適応上塗塗料

- 水性塗料：弾ビニⅡシリーズ(032L)、ビニロックウレタン(108L)、ユニロックハイグロス(072L)、ハイパービルロックセラ(111L)など
- 溶剤型塗料：ダイナロックⅢ(018L)、1液ユメロック(024L) ユメロック(114L)、ハイパーユメロック(114L)など

（その他詳細な上塗り可能塗料については、最寄りの営業所にお問い合わせください。）

## 使用方法

- 塗装方法：ローラー、砂骨ローラー、エアレス
- 希釈剤：水
- 希釈率：ローラー 5～10%  
エアレス 5～10%  
砂骨ローラー 1～5%
- 塗装回数：1回
- 標準塗付量：0.3～0.5kg/m<sup>2</sup>・回(ローラー・エアレス)  
0.8～1.5kg/m<sup>2</sup>・回(砂骨ローラー)
- 塗付面積：32～53m<sup>2</sup>/16kg・回(ローラー・エアレス)  
11～20m<sup>2</sup>/16kg・回(砂骨ローラー)
- 塗り重ね可能時間：4時間以上(20℃)

（上塗り塗料が溶剤型の場合、8時間以上(20℃)となります。  
各数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。  
下地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。）

## 品番・容量

032-2106 ビニロックエラストックファイラーⅢ 16kg

## 施工上の注意

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低い時や、湿度が高い場合には、完全な塗膜が出来にくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 下地の状態により、シーラーが必要な場合があります。（特に表面が脆弱な下地の場合）詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 大きな穴欠、目違い、不陸、クラックなどは、セメントフィラー、樹脂モルタルで補修してください。（補修後はシーラーを塗装してください。）
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- エマルション/パテの外部での使用は避けてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 作業能率の低下および塗りムラ防止のため、スプレーノズルの先端は時々水洗いしてください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素材を含む）を使用したり、塗装間隔、塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなく塗ることがありますので下地処理等を確実に行ってください。
- 柱木、天端など長時間水が溜まる箇所では、塗膜の白化、ふくれなどが発生することがあります。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合や、素地が強アルカリ性であることが予想される場合は、カチオン型合成樹脂エマルションシーラーか溶剤型シーラーを使用してください。（屋内の塗装でやむを得ず溶剤型シーラーを使用する場合は、火気とVOCの放散に十分注意し、塗装時および塗装後も十分な換気を行ってください。）
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをお勧めします。旧塗膜のチョーキング層は高圧洗浄で除去してください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用し、使用後用具や手に付いた塗料をできるだけ早く水で洗い落とすしてください。
- 旧塗膜が弾性型塗料でビニロックエラストックファイラーⅢを使用して塗り替えを行う場合、後の行程で吹付タイル（硬質タイル）は使用しないでください。クラックが生じる場合がありますので、弾性系の塗料を使用してください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタッコ）やアクリル樹脂エマルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など）を使用した場合、高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 砂骨ローラーで塗装する場合、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにむらが生じないように行ってください。
- 塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシンガン、タイルガンも使用できます。
- リシン面の塗り替えの際、特に夏場でローラーの塗り継ぎが目立つことがあります。旧塗膜に吸い込みがあり、乾燥が速い場合には、ビニロックエラストックファイラーⅢを10～15%希釈して、薄くシーラー代わり塗装した後、砂骨ローラーでパターン付けを行ってください。
- ビニロックエラストックファイラーⅢを所定量塗装しないで、上塗りとして、溶剤系の塗料を塗装した場合、リフティング（塗膜にちぢみ）を起こす場合があります。溶剤型や弱溶剤型の塗料を上塗りする場合は、ビニロックエラストックファイラーⅢの膜厚を厚めにして、塗装間隔を8時間以上(20℃)とってください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをお勧めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材には、「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- 塗装時および塗装後は換気を良くしてください。密閉した室内では乾燥が遅くなります。また水のかかる場所では塗装後24時間以上(20℃の場合)乾かしてからご使用ください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗付量については、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- このカタログに記載されている適応上塗塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

## 安全衛生上および取扱上の注意

- 〔製品の危険・有害性〕
- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入るとは避けてください。
- 〔救急処置〕
- 目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
  - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
  - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 〔施工後の安全性について〕
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施工に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
  - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

## 〔取扱の注意事項〕

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱いはできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし、5℃以上、40℃以下の子ども手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

※安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。



# ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2  
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-308  
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11-201  
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業所 〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本1-15-16  
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47  
TEL(06)6473-1055 FAX(06)6473-1000

名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1  
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000-34  
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1  
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

## 販売店

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。  
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。